

H27年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市介護老人保健施設 やすらぎの杜 優楽				
所在地	生駒市小瀬町324番地2				
指定管理者名	特定医療法人仁悠会	指定期間	開始日	平成 23 年 4 月 1 日	
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	平成 33 年 3 月 31 日	
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 10 年のうち 5 年目		
設置目的	要介護者等について、日常生活の自立を支援し、又は居宅における生活への復帰を促進するため、介護保険法に規定する介護老人保健施設を設置する。				
主な実施事業等	介護保険法に規程する、通所リハビリテーション、短期入所療養介護、介護保健施設サービス、介護予防通所リハビリテーション、介護予防短期入所療養介護、訪問リハビリテーション				

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
入所・短期	人	85人/日	86.3人/日	+11.2人/日	増床(80床⇒100床)のため
通所リハビリテーション	人	39.7人/日	38.9人/日	+2.6人/日	個別小提供体制の強化
短時間通所リハビリテーション	人	7人/日	10.2人/日	+3.3人/日	相談部門体制の強化

3 事業収支

	事業計画	事業報告(実績)	(参考)前年度実績
収入計 A	566,630,000	597,735,618	526,335,477
指定管理料			
利用料金収入 C	564,710,000	596,908,071	513,401,246
自主事業収入	1,800,000	594,267	690,151
その他	120,000	233,280	12,244,080
支出計 B	528,146,000	552,899,696	506,317,242
指定事業費	528,146,000	552,899,696	506,317,242
うち人件費 D	310,000,000	315,675,358	283,670,362
うち再委託料 E	70,000,000	59,149,453	64,238,695
自主事業費			
事業収支 A-B	38,484,000	44,835,922	20,018,235
利用料金比率 C/A	1	1	1
人件費比率 D/B	1	1	1
再委託費比率 E/B	0	0	0
補足説明(必要に応じて記入)			

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート	意見箱の設置	相談窓口の設置	等
実施結果	意見内容等			対応実績等		
	デイケアについて、日曜日が利用できると嬉しい。家族が日曜日に用事があるので助かる。出来れば夕食も提供してもらえるとありがたい。			今回お聞かせいただいた意見を参考に、デイケアの日曜開催の実施に向けて、現在検討中です。		

5 管理運営状況評価

施設の設定目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	個々の利用者の状態に応じた、多職種によるチームケアを行い、在宅復帰率58%と非常に高い実績を達成しました。今後も在宅強化型介護老人保健施設として、介護老人保健施設の重要な機能である「在宅復帰施設」としての役割を果たしていきます。
市の評価	施設の入所定員増加に伴い利用者数も増加するとともに、在宅復帰率も目標を大きく上回るなど、在宅強化型介護老人保健施設としての役割を果たしている。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	公設施設としての公共性、公平性の役割を十分に認識し、施設利用について平等に行われるよう、適正な管理・運営に努めています。また、入退所の判定等、真に支援が必要とする高齢者とその家族に対して平等に行われるよう、判定委員会を組織し、公平さを高めるようにしています。
市の評価	入退所の判定等においては、判定委員会を組織するなど、公平で適切な運用が行われている。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	年2回の利用者アンケート、食事嗜好調査の実施や2箇所意見箱を設置し、利用者の意見を汲み取り、結果の分析や評価を行い改善策を実施しています。また、苦情等については、相談窓口を設置し、迅速な対応に努めています。※27年度のアンケートで、10項目について調査した結果、平均で76.2%が「満足している」、6.8%が「満足していない」、17%が「どちらでもない」と回答されました。
市の評価	嗜好調査を含む年3回のアンケート調査を実施するとともに、施設内に2か所の意見箱を設置するなど、利用者の意見把握を積極的に進めており、利用者満足度も高い。また、苦情等についても、相談窓口を設置し、迅速かつ丁寧に対応している。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	業務委託費の適正化や、節水バルブの取り付け等による経費の節減に努めました。また、環境負荷低減活動を推進するためにも、エネルギー消費を抑える努力を行っています。効果の一例として、節水バルブ取り付けや職員のコスト意識の向上を図った結果、1年間の水道使用量で前年比▲22.7%、水道料金で▲20.3%の節約となりました。
市の評価	節水バルブ取り付け等による経費削減の取組効果はあったものの、増床による定員増や利用者数の増加に伴う職員増等のため、経費が増加している。今後は、更なる事務の合理化や職員のコスト意識を高めるなど、経費の削減に努められたい。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	これまでにリハビリテーションの提供体制の強化や、デイサービスの利用定員の増加を行うなどし、利用者ニーズの幅を広げ、利用者の増加が図れるよう努めた結果、前年比で入所系利用者数は+15%、デイサービス利用者は+13.6%の増加となりました。
市の評価	利用者数の増加とともに、効率的な運用に努められたことにより、収入が支出以上に増加している。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	公開セミナーの開催や地域の学校で開催される音楽会に利用者と共に参加したり、小学校からの社会実習の受け入れを行うなど、地域との有機的な連携や双方向の関係づくりを行っています。また、施設が提供するサービスの質を、公正・中立な第三者機関に専門的・客観的な立場から評価を行う第三者評価を受審し、サービスの質の向上に取組んでいます。
市の評価	職員に対しては、質の向上のための研修を実施している、また、公開セミナーの開催や小学校から社会実習を受け入れるなど、地域との連携を図っている。さらに、ホームページの開設、パンフレットの作成など、広く施設の周知を図っている。

自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	これまでに市民向けの公開講座の開催や、通所リハビリテーションにマシンを使用し、介護予防のため新たなプログラムを導入し、多様な要望に応えるようにしました。 また、施設入所者の方の室料を、市民の方に限り、低減をさせていただいています。
市の評価	訪問リハビリテーション、アンケート調査、市民向けの公開講座の開催、介護予防のためのプログラムの導入等の自主事業を行い、サービスの向上、利用者の増加に努めている。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	消防訓練の実施や火災避難マニュアルの策定をしています。また、事故対策委員会と感染対策委員会を設置し、事故防止マニュアルや感染防止マニュアルの整備を行い、事故の発生防止及び事故発生時の対応手順等が実際に機能するように努めています。
市の評価	防災計画や災害マニュアルの整備を行うとともに、消防訓練も実施しているが、夜間を想定した訓練も実施されたい。また、事故発生時に対応するための事故対策委員会や感染対策委員会を設置するとともに、マニュアルも整備されており、事故発生時の対応もできている。
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
指定管理者による自己評価	高齢者ニーズに適応したサービスの提供を行うことで、利用率の維持向上を図り、比較的安定した事業が行うことができている。今後も、医療的必要度の高い利用者の受け入れ等も積極的に行い、安定した事業の継続に努めます。
市の評価	利用率の維持向上に努められた結果、収入が増加するとともに、事業収支も増加している。今後も引き続き、安定的に事業が継続できるよう努められたい。

6 指定管理者の財務の状況

	平成27年度	平成26年度	平成25年度
資産	7,118,857,952	6,833,277,184	6,580,175,426
流動資産	3,767,219,412	3,356,080,364	2,961,050,029
固定資産	3,351,638,540	3,477,196,820	3,619,125,397
負債	2,688,214,941	3,037,281,055	3,378,604,944
流動負債	344,610,124	356,284,958	360,349,003
固定負債	2,343,604,817	2,680,996,097	3,018,255,941
純資産	4,430,643,011	3,795,996,129	3,201,570,482
資本金	5,000,000	5,000,000	5,000,000
売上高	4,316,372,962	4,313,183,801	4,271,410,168
経常利益	818,275,529	780,190,921	719,968,978

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	平成27年度	平成26年度	平成25年度
自己資本比率 純資産/資産×100	62.2%	55.6%	48.7%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	60.7%	80.0%	105.5%
固定比率 固定資産/純資産×100	75.6%	91.6%	113.0%
流動比率 流動資産/流動負債×100	1093.2%	942.0%	821.7%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	49.5%	53.7%	58.2%
総資産回転率 売上高/資産×100	60.6%	63.1%	64.9%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	11.5%	11.4%	10.9%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価

多職種によるチームケアを実施し、在宅復帰を重視した運営を行います。さらに、今後は、日曜デイサービスの開催や医療必要度の高い入所者の受入も積極的に行うなど、多機能性を持った介護老人保健施設として取り組んでいきたいと思いをします。

市の評価

利用者のニーズを把握し、効率的な運営に努めていただき、利用者数の増や高い在宅復帰率、また安定した収支状況など、優れた結果となっています。今後も利用者の意見を把握し、適切な運営に取り組んでください。なお、提案時に提出された事業計画で一部未実施のものについては、迅速に対応されるよう努めてください。